

第321回 番組審議会

1. 日 時 令和5年 5月 16日 (火) 12:00～
2. 場 所 ホテルメトロポリタン盛岡NEW WING
3F「星雲東の間」
3. 委 員 委員総数 8名
出席委員数 5名

○ 出席委員 (敬称略)

鈴木 厚人 (委員長)

—50音順—

石田 征広

平野 順子

八木橋 伸之

渡邊 佳隆

○ 会社側出席者

齋藤 秋水 (代表取締役社長)

高嶋 昇 (常務取締役)

一戸 俊行 (取締役)

君澤 温 (取締役総務局長)

工藤 哲人 (岩手めんこいテレビ番組制作部副部長)

○ 事務局 近谷 利政

岩淵 博美

4. 議題 「スタートライン」小説家・高橋克彦
放送日時：令和5年4月30日（日）
16：00～16：55

5. 議事概要

今回は、4月30日に放送した『スタートライン 小説家・高橋克彦』について審議しました。

【岩手めんこいテレビ番組制作部 工藤からの説明】

岩手、そして日本の発展に貢献している文化人、企業人の方々の人生の出発点を描いた番組。何度も話を聞きに行き、あまりにも偉大な人物で1時間におさめることは難しかったが熟慮を重ね制作した旨を説明しました。

【委員からの意見】

委員からは、「高橋克彦さんの魅力が伝わる、わかりやすい構成だった」「インタビューの言葉尻などから、ディレクターとの信頼関係が読めた。高橋克彦さんの自然な言葉が引き出せたのはさすが」「風景とインタビュー、画面のバランスがよかった。映像的にも飽きずにみられた」などの意見が出ました。

他にも「浮世絵研究者としては、どれほどの研究者だったのかも知りたかった」「エンディングへの運びに少し唐突感があった」などの意見がありました。